

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	安定的なインカム収益の獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	オーストラリア好利回りバランス・ファンド (為替ヘッジなし)	明治安田オーストラリア公社債マザーファンドおよび明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドを主要投資対象とします。
	明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とします。
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	オーストラリア好利回りバランス・ファンド (為替ヘッジなし)	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。
	明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎年6月7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

オーストラリア好利回り バランス・ファンド (為替ヘッジなし) 愛称：レッツ豪(為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版)

第1期

(決算日 2018年 6月 7日)

受益者のみなさまへ

平素は「オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

◎設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		株式組入比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込み分配金	期中騰落率				
(設定日) 2017年 8月10日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 2,000
(第1期) 2018年 6月 7日	9,943	0	△0.6	12.8	66.0	15.7	2,015

(注1) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは親投資信託を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行います。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

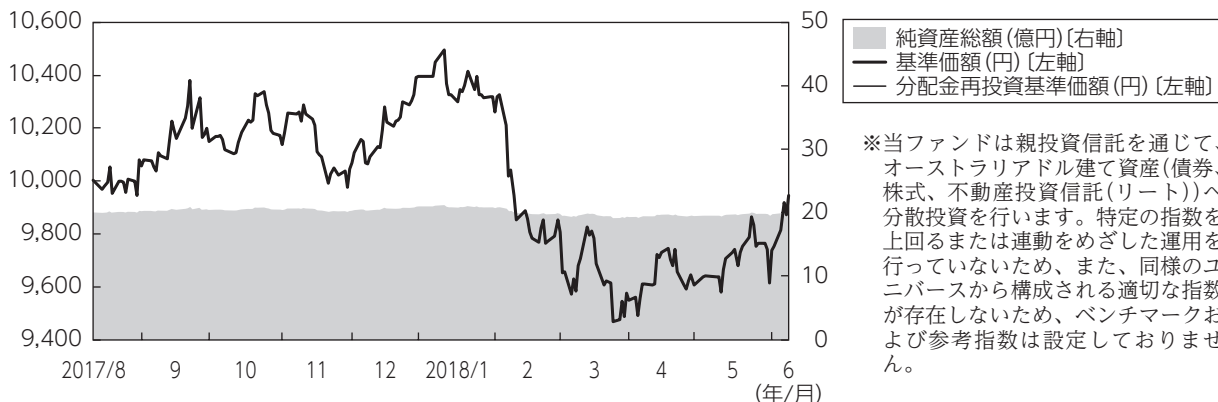
年月日	基準価額		株式組入比率	債券組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率			
(設定日) 2017年 8月10日	円 10,000	% -	% -	% -	% -
8月末	10,054	0.5	13.7	68.1	14.6
9月末	10,147	1.5	13.7	68.2	14.8
10月末	10,137	1.4	13.9	68.0	14.9
11月末	10,065	0.7	13.7	67.4	15.3
12月末	10,394	3.9	13.9	66.8	15.1
2018年 1月末	10,258	2.6	14.2	67.5	14.7
2月末	9,802	△2.0	14.1	67.0	15.0
3月末	9,544	△4.6	13.0	67.0	14.9
4月末	9,604	△4.0	13.0	66.8	15.1
5月末	9,736	△2.6	12.8	66.1	15.6
(期 末) 2018年 6月 7日	9,943	△0.6	12.8	66.0	15.7

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



設定日(2017年8月10日)：10,000円

第1期末(2018年6月7日)：9,943円(既払分配金0円)

騰落率：△0.6%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアドル建て資産(債券、株式、リート)へ分散投資を行った結果、基準価額は下落しました。利上げ観測の後退を受けて利回り商品としてのリートの魅力が高まり、組み入れているリートの価格が上昇し、明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドの基準価額が上昇したことはプラスに寄与しました。ただし、オーストラリアの長期金利が上昇したことにより、明治安田オーストラリア公社債マザーファンドの基準価額が下落したことや、円高オーストラリアドル安が進行したことなどがマイナスに影響しました。

【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	2.1%
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	△0.5%

■投資環境

豪州株式・リート

当期の豪州株式相場は上昇しました。設定時から2017年10月上旬にかけては、同意に薄い展開となりましたが、10月上旬から2018年1月上旬にかけて、主要国による堅調な経済指標を背景とした世界的な景気回復期待や米国の税制改革の進展も追い風となり株式相場は上昇しました。1月中旬から3月下旬にかけては米国長期金利の上昇に端を発した投資家のリスク回避姿勢の高まりや主要貿易相手国である米中間の貿易摩擦懸念から下落しましたが、4月以降は利上げ観測の後退や堅調な鉄鉱石価格を背景に上昇しました。

当期の豪州リート相場は上昇しました。設定時から2017年12月中旬にかけては、中央銀行総裁が利上げに慎重な姿勢を示したことや、長期金利の低下を背景にリート相場は上昇しました。その後、2018年2月中旬にかけては、米国長期金利の上昇に端を発した投資家のリスク回避姿勢の高まりや主要貿易相手国である米中間の貿易摩擦懸念から下落しましたが、3月以降は物価の落ち着きを受けた利上げ観測の後退を下支え材料にリート相場は上昇しました。

豪州債券

当期の豪州債券市場で長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。2017年10月上旬から11月下旬にかけて、および2018年2月中旬から3月下旬にかけては賃金の伸びが鈍かったことや、中央銀行がインフレ見通しを下方修正したことによる利上げ観測の後退、および米中貿易摩擦への懸念などから低下（債券価格は上昇）する場面がありましたが、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において追加利上げの可能性が示唆されたことによる米国長期金利の上昇に連動し、長期金利は上昇しました。

外国為替

当期のオーストラリアドルは円に対して下落しました。設定時から2017年9月下旬にかけては、北朝鮮情勢の緊迫化の緩和を好感し円に対して上昇しましたが、9月下旬から11月下旬にかけては中央銀行の金融政策見通しの下方修正などから下落しました。その後、12月上旬から2018年1月下旬にかけては市場予想比で良好だった雇用統計などから上昇しましたが、1月下旬以降は低位にとどまる物価を受けた利上げ観測の後退や、主要貿易相手国である米中間の貿易摩擦懸念から下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

オーストラリア好利回りバランス・ファンド（為替ヘッジなし）

運用方針に基づき、「明治安田オーストラリア公社債マザーファンド」、「明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド」を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行いました。資産配分比率は、オーストラリアドル建て債券、豪州株式、豪州リーートの各資産へそれぞれ純資産総額の70：15：15を基本とし、乖離幅を一定範囲内に抑えた運用を行いました。

明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

運用方針に基づき、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式およびリートに投資しました。当マザーファンド設定時に豪州株式および豪州リートへの投資比率を概ね50:50とし、運用を開始しました。銘柄選択の視点として配当利回りを重視し、マザーファンド全体での平均配当利回りをオーストラリア市場の平均よりも高めを維持しました。

当期は運用開始時に構築したポートフォリオを継続し、銘柄の入れ替えは行いませんでした。

上記の運用を行った結果、当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、組み入れているリートの価格が堅調に推移したことが上昇要因となりました。一方、オーストラリアドルが円に対して軟調に推移したことが下落要因となりました。

【株式組入上位5銘柄】

期末(2018年6月7日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.0%
2	WESTPAC BANKING CORP	銀行	2.8%
3	NAVIGATOR GLOBAL INVESTMENTS	各種金融	2.4%
4	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	2.1%
5	PLATINUM ASSET MANAGEMENT	各種金融	2.1%

※組入比率は明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドの純資産総額に対する比率

※業種はGICS(世界産業分類基準)

【リート組入上位5銘柄】

期末(2018年6月7日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	VICINITY CENTERS	店舗用不動産投資信託	8.6%
2	SCENTRE GROUP	店舗用不動産投資信託	7.7%
3	GDI PROPERTY GROUP	オフィス不動産投資信託	6.4%
4	CROMWELL PROPERTY GROUP	オフィス不動産投資信託	6.2%
5	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	工業用不動産投資信託	5.1%

※組入比率は明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドの純資産総額に対する比率

※業種はGICS(世界産業分類基準)

明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

運用方針に基づき、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Baa3以上（およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む）の格付けを付与された公社債に投資しました。マクロ経済・債券市況・需給動向等の分析を踏まえ、金利動向およびクレジット市場の方向性を予測、ポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、運用戦略を決定・実行しました。

期の前半は世界的に債券利回りが低水準で推移するなか、オーストラリアも超長期国債の魅力が低下している一方、残存年限が10年以内の非国債スプレッドは米ドル建やカナダドル建など他市場と比較して縮小余地があることから今後も堅調に推移すると予想しました。この見通しを踏まえ、期初時点では長期・超長期国債の保有比率を抑制しつつ、10年以内、特に3-5年程度の金融機関債や国際機関債を多く保有しました。また、非国債市場においては既発債対比で新発債の利回りが高いことから、期中にドイツの政府系機関債やオーストラリア国内の金融機関債を新規発行に合わせて買入れました。期の後半には、国債とのスプレッドが縮小した国際機関債は今後保有する魅力度が低下したとみられることから、段階的に国際機関債を売却、国債の購入を実施しました。また、2018年1月以降はグローバルに国債金利が大きく変動したことから、オーストラリア国債のカーブ形状の変化や米国債カーブとの形状比較を踏まえ、デュレーション・リスクは抑えながらも超長期国債の保有比率を引き上げました。

上記の運用を行った結果、当期の基準価額は下落しました。基準価額の主な変動要因は、オーストラリアドル建債券の利回りが上昇したことや、オーストラリアドルが円に対して軟調に推移したことが下落要因となりました。

【債券特性値】

期末(2018年6月7日)

デュレーション	5.3年
残存年数	6.4年
複利最終利回り	2.8%

※ファンドの「複利最終利回り」は実際の投資家利回りとは異なります。

【格付別組入状況】

期末(2018年6月7日)

格付	組入比率
AAA	67.5%
AA	11.9%
A	20.6%
合計	100.0%

※格付は格付投資情報センター、日本格付研究所、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、スタンダード・アンド・プアーズによる上位格付を採用

※組入比率は明治安田オーストラリア公社債マザーファンドの組入債券評価額合計に対する比率

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは親投資信託を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■分配金

収益分配については、分配対象額の水準、基準価額の水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第1期
	(2017年8月10日～2018年6月7日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	271

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)

引き続き、「明治安田オーストラリア公社債マザーファンド」、「明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド」を通じて、オーストラリアドル建て資産（債券、株式、不動産投資信託（リート））へ分散投資を行います。原則としてオーストラリアドル建て債券、豪州株式、豪州リートの各資産へそれぞれ純資産総額の70：15：15を基本に分散投資を行います。なお、資産配分比率は市場環境に応じて見直すことがあります。

明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

引き続き、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とし、原則として豪州株式、豪州リートの各資産へそれぞれ純資産総額の50：50を基本に分散投資を行います。

明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

引き続き、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Baa3以上（およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む）の格付けを付与された公社債に投資します。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2017年8月10日～2018年6月7日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	80 円	0.804 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,974円です。
(投信会社)	(33)	(0.331)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(45)	(0.447)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.068	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.034)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(3)	(0.034)	
(c) その他費用	3	0.029	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	90	0.901	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎**売買及び取引の状況**(2017年8月10日～2018年6月7日)

○親投資信託の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	1,390,049	1,390,070	—	—
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	595,729	595,740	—	—

(注)単位未満は切り捨て。

◎**親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合**

項 目	当 期
	明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	724,837千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	682,214千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.06

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎**利害関係人との取引状況等**(2017年8月10日～2018年6月7日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎**組入資産明細表**

○親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	—	1,390,049	1,382,543
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	—	595,729	608,180

(注1)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)明治安田オーストラリア公社債マザーファンド全体の当期末受益権口数は(3,493,335千口)です。

(注3)明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド全体の当期末受益権口数は(1,497,362千口)です。

◎投資信託財産の構成

2018年6月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド	1,382,543	68.4
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド	608,180	30.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	30,653	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,021,376	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 明治安田オーストラリア公社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,376,678千円)の投資信託財産総額(3,474,647千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,512,450千円)の投資信託財産総額(1,528,608千円)に対する比率は98.9%です。

(注4) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=84.47円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

◎損益の状況

自 2017年 8月10日
至 2018年 6月 7日

		2018年6月7日現在
項 目		当 期 末
(A)資 産		2,021,376,615円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		30,652,936
明治安田オーストラリア公社債マザーファンド(評価額)		1,382,543,483
明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド(評価額)		608,180,196
(B)負 債		6,190,584
未 払 信 託 報 酬		6,153,070
そ の 他 未 払 費 用		37,514
(C)純 資 産 総 額 (A - B)		2,015,186,031
元 本		2,026,753,802
次 期 繰 越 損 益 金	△	11,567,771
(D)受 益 権 総 口 数		2,026,753,802口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)		9,943円

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	4,782,115円
売 買 益	12,445,211
売 買 損	△ 7,663,096
(B)信 託 報 酬 等	△16,305,309
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	△11,523,194
(D)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 44,577
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 44,577)
(E)計 (C + D)	△11,567,771
(F)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (E + F)	△11,567,771
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 44,577
(配 当 等 相 当 額)	(84,228)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 128,805)
分 配 準 備 積 立 金	54,880,974
繰 越 損 益 金	△66,404,168

(注1) 当ファンドの設定元本額は2,000,000,000円、期中追加設定元本額は33,894,962円、期中一部解約元本額は7,141,160円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9943円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は11,567,771円です。

(注4) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(54,880,974円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(84,228円)より分配対象収益は54,965,202円(10,000口当たり271円)ですが、当期に分配した金額はありません。

明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド

運用報告書

第1期

(決算日 2018年6月7日)

「明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンド」は、2018年6月7日に第1期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

◎設定以来の運用実績

決算期	基準 価額	騰落率		株式組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産総額
		円	%			
(設定日) 2017年 8月10日	10,000	—	—	—	—	1,485
(第1期) 2018年 6月 7日	10,209	2.1	42.4	52.1	—	1,528

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドはオーストラリアドル建て資産（株式、不動産投資信託（リート））に投資を行います。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

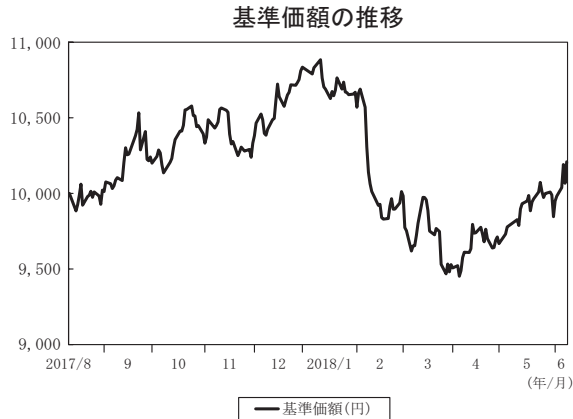
年月日	基準 価額	騰落率		株式組入比率	投資信託証券 組入比率
		円	%		
(設定日) 2017年 8月10日	10,000	—	—	—	—
8月末	10,012	0.1	46.3	49.3	—
9月末	10,200	2.0	45.9	49.6	—
10月末	10,332	3.3	46.2	49.4	—
11月末	10,382	3.8	44.8	50.2	—
12月末	10,835	8.4	45.2	49.1	—
2018年 1月末	10,570	5.7	46.5	48.4	—
2月末	9,983	△0.2	46.8	49.9	—
3月末	9,507	△4.9	44.3	50.6	—
4月末	9,668	△3.3	43.9	50.8	—
5月末	9,950	△0.5	42.7	51.8	—
(期 末) 2018年 6月 7日	10,209	2.1	42.4	52.1	—

(注) 騰落率は設定日比です。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2017年8月10日～2018年6月7日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は設定時10,000円で始まり、期末10,209円で終わりました。騰落率は+2.1%でした。基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組み入れている株式・リーートのインカム収入が積み上がったこと
- ・低インフレを背景としたオーストラリアの利上げ観測の後退を受けて、利回り商品としてのリーートの魅力が高まり、組み入れているリーートの価格が上昇したこと

(下落要因)

- ・株式相場が堅調に推移する中、配当利回りよりも値上がり益を選好する動きが強まり、組み入れている株式の価格が下落したこと
- ・主要な貿易相手国である米国・中国間の貿易摩擦懸念の高まりや、低インフレを背景としたオーストラリアの利上げ観測の後退を受けて、オーストラリアドルが円に対して下落したこと

2 運用経過

運用概況

運用方針に基づき、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式およびリートに投資しました。当マザーファンド設定時に豪州株式および豪州リートへの投資比率を概ね50：50とし、運用を開始しました。銘柄選択の視点として配当利回りを重視し、マザーファンド全体での平均配当利回りをオーストラリア市場の平均よりも高めを維持しました。

当期は運用開始時に構築したポートフォリオを継続し、銘柄の入れ替えは行いませんでした。

【株式組入上位5銘柄】

期末(2018年6月7日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.0%
2	WESTPAC BANKING CORP	銀行	2.8%
3	NAVIGATOR GLOBAL INVESTMENTS	各種金融	2.4%
4	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	2.1%
5	PLATINUM ASSET MANAGEMENT	各種金融	2.1%

※組入比率は明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドの純資産総額に対する比率

※業種はGICS(世界産業分類基準)

【リート組入上位5銘柄】

期末(2018年6月7日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	VICINITY CENTERS	店舗用不動産投資信託	8.6%
2	SCENTRE GROUP	店舗用不動産投資信託	7.7%
3	GDI PROPERTY GROUP	オフィス不動産投資信託	6.4%
4	CROMWELL PROPERTY GROUP	オフィス不動産投資信託	6.2%
5	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	工業用不動産投資信託	5.1%

※組入比率は明治安田オーストラリア株式&リート・マザーファンドの純資産総額に対する比率

※業種はGICS(世界産業分類基準)

3 今後の運用方針

引き続き、オーストラリアの証券取引所に上場されている株式および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とし、原則として豪州株式、豪州リーートの各資産へそれぞれ純資産総額の50：50を基本に分散投資を行います。

◎1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項目の概要
	(2017年8月10日～2018年6月7日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	23 円	0.228 %	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※期中の平均基準価額は10,143円です。
(株式)	(12)	(0.115)	
(投資信託証券)	(11)	(0.113)	
(b) その他費用	5	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用
(保管費用)	(4)	(0.044)	
(その他)	(0)	(0.005)	
合 計	28	0.277	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2017年8月10日～2018年6月7日)

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
	オーストラリア	20,204 (3)	8,298 (-)	3	0.02641

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切り捨て。ただし、単位未満のみの場合は小数で記載。

(注3)()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	口	千オーストラリアドル	口	千オーストラリアドル
	CROMWELL PROPERTY GROUP	1,015,684	945	—	—
	CHARTER HALL RETAIL REIT	197,435	802	—	—
	SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	97,088	240	—	—
		(-)	(△ 3)	(-)	(3)
	GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	178,279	566	—	—
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	361,605	897	—	—
	INDUSTRIA REIT	222,827	520	—	—
	HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	168,305	513	—	—
	GDI PROPERTY GROUP	881,858	902	—	—
	SCENTRE GROUP	330,388	1,357	—	—
	VICINITY CENTERS	577,666	1,557	—	—
	GATEWAY LIFESTYLE	332	0.63467	—	—
	AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	207,463	483	—	—
	合計口数・金額	4,238,930 (-)	8,788 (△ 3)	— (-)	— (3)

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切り捨て。ただし、単位未満のみの場合は小数で記載。

(注3)()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	724,837千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	682,214千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.06

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎主要な売買銘柄

○株式

当 期				当 期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD(オーストラリア)	20	55,114	2,656	APA GROUP-RIGHTS SHARE(オーストラリア)	0.331	2	6
WESTPAC BANKING CORP(オーストラリア)	18	51,492	2,788				
TELSTRA CORP LTD(オーストラリア)	139	49,863	356				
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD(オーストラリア)	98	37,528	380				
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE(オーストラリア)	124	33,801	272				
VILLA WORLD LTD(オーストラリア)	164	33,130	201				
AUST AND NZ BANKING GROUP(オーストラリア)	12	31,600	2,587				
PLATINUM ASSET MANAGEMENT(オーストラリア)	62	30,833	494				
BANK OF QUEENSLAND LTD(オーストラリア)	23	25,360	1,087				
HFA HOLDINGS LTD(オーストラリア)	94	23,185	244				

(注)金額は受渡し代金。

◎利害関係人との取引状況等(2017年8月10日～2018年6月7日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国株式

上場、登録株式

銘 柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	百株	千オーストラリアドル	千円	
AUST AND NZ BANKING GROUP	122	323	27,361	銀 行
WESTPAC BANKING CORP	184	508	42,939	銀 行
BANK OF QUEENSLAND LTD	233	234	19,803	銀 行
FORTESCUE METALS GROUP LTD	288	138	11,678	素 材
TELSTRA CORP LTD	1,397	387	32,691	電 気 通 信 サ ー ビ ス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	151	155	13,145	銀 行
COCA-COLA AMATIL LTD	69	63	5,362	食 品 ・ 飲 料 ・ タ バ コ
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	986	347	29,328	小 売
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	122	74	6,305	不 動 産
CABCHARGE AUSTRALIA LTD	727	160	13,520	商 業 ・ 専 門 サ ー ビ ス
SERVCORP LTD	1	0.46782	39	不 動 産
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	24	168	14,268	銀 行
CSR LTD	503	250	21,195	素 材
APA GROUP	56	48	4,060	公 益 事 業
SELECT HARVESTS LTD	276	198	16,790	食 品 ・ 飲 料 ・ タ バ コ
GWA GROUP LTD	158	56	4,746	資 本 財
SUNCORP GROUP LTD	0.44	0.6138	51	保 険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	207	547	46,224	銀 行
AMP LTD	356	132	11,217	各 種 金 融
IOOF HOLDINGS LTD	151	133	11,292	各 種 金 融
TABCORP HOLDINGS LTD	218	98	8,296	消 費 者 サ ー ビ ス
WESFARMERS LTD	32	146	12,344	食 品 ・ 生 活 必 需 品 小 売
ALUMINA LTD	585	158	13,359	素 材
MCMILLAN SHAKESPEARE LTD	6	10	887	商 業 ・ 専 門 サ ー ビ ス
SUPER RETAIL GROUP LTD	52	44	3,759	小 売
MORTGAGE CHOICE LTD	1,080	175	14,790	銀 行
RETAIL FOOD GROUP LTD	88	6	528	消 費 者 サ ー ビ ス
THORN GROUP LTD	1,120	70	5,913	小 売
FLEXIGROUP LTD	312	71	6,037	各 種 金 融
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	624	376	31,844	各 種 金 融
MACQUARIE GROUP LTD	16	181	15,293	各 種 金 融
G8 EDUCATION LTD	459	111	9,440	消 費 者 サ ー ビ ス
CROWN RESORTS LTD	58	79	6,691	消 費 者 サ ー ビ ス
MYSTATE LTD	269	129	10,940	銀 行
MACA LTD	651	80	6,769	素 材
VILLA WORLD LTD	1,646	368	31,151	不 動 産

銘 柄	当 期 末			業 種 等	
	株 数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	千オーストラリアドル	千円		
SOUTHERN CROSS MEDIA GROUP L	733	90	7,621	メ デ イ ア	
AURIZON HOLDINGS LTD	137	59	5,002	運	
WPP AUNZ LTD	5	0.57426	48	メ デ イ ア	
MICHAEL HILL INTERNATIONAL L	5	0.57304	48	小	
NAVIGATOR GLOBAL INVESTMENTS	948	433	36,620	各 種 金 融	
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	830	198	16,761	メ デ イ ア	
JAPARA HEALTHCARE LTD	153	27	2,358	ヘルスケア機器・サービス	
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	1,240	307	25,987	銀 行	
MONASH IVF GROUP LTD	93	11	977	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ASALEO CARE LTD	802	109	9,288	家庭用品・パーソナル用品	
AUSNET SERVICES	1,351	212	17,975	公 益 事 業	
AUTOMOTIVE HOLDINGS GROUP LT	660	185	15,679	小 売	
合 計	株 数 ・ 金 額	20,204	7,676	648,442	
	銘 柄 数 < 比 率 >	48	—	<42.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満のみの場合は小数で記載。

(注4) 銘柄コード等の変更があった場合は、変更前後を別銘柄として記載しております。

○外国投資信託証券

銘柄	当 期 末			
	口 数	評 価 額		組 入 比 率
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	口	千オーストラリアドル	千円	%
CROMWELL PROPERTY GROUP	1,015,684	1,117	94,374	6.2
CHARTER HALL RETAIL REIT	197,435	831	70,211	4.6
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	97,088	211	17,878	1.2
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	178,279	648	54,815	3.6
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	361,605	929	78,500	5.1
INDUSTRIA REIT	222,827	577	48,749	3.2
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	168,305	548	46,346	3.0
GDI PROPERTY GROUP	881,858	1,150	97,210	6.4
SCENTRE GROUP	330,388	1,390	117,492	7.7
VICINITY CENTERS	577,666	1,553	131,259	8.6
GATEWAY LIFESTYLE	332	0.60258	50	0.0
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	207,463	460	38,904	2.5
合 計	口 数 ・ 金 額	4,238,930	9,421	795,792
	銘 柄 数 < 比 率 >	12	—	<52.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。ただし、単位未満のみの場合は小数で記載。

◎投資信託財産の構成

2018年6月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	648,442	42.4
投 資 証 券	795,792	52.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ・ そ の 他	84,374	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,528,608	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(1,512,450千円)の投資信託財産総額(1,528,608千円)に対する比率は98.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=84.47円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年6月7日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,528,608,471円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	77,916,856
株 式(評価額)	648,442,750
投 資 証 券(評価額)	795,792,915
未 取 配 当 金	6,455,950
(B)負 債	1,931
そ の 他 未 払 費 用	1,931
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	1,528,606,540
元 本	1,497,362,062
次 期 繰 越 損 益 金	31,244,478
(D)受 益 権 総 口 数	1,497,362,062口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,209円

◎損益の状況

 自 2017年 8月10日
至 2018年 6月 7日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	67,609,157円
受 取 配 当 金	67,609,157
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 34,554,880
売 買 益	103,892,773
売 買 損	△138,447,653
(C)信 託 報 酬 等	△ 737,737
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	32,316,540
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 118,443
(F)解 約 差 損 益 金	△ 953,619
(G)計 (D + E + F)	31,244,478
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	31,244,478

(注1) 当親ファンドの設定元本額は1,485,000,000円、期中追加設定元本額は32,408,443円、期中一部解約元本額は20,046,381円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジあり)604,081,950円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)595,729,451円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(毎月決算型)297,550,661円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.0209円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

明治安田オーストラリア公社債マザーファンド

運用報告書

第1期

(決算日 2018年6月7日)

「明治安田オーストラリア公社債マザーファンド」は、2018年6月7日に第1期決算を行いました。以下、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	中長期的な信託財産の成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

◎設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSEオーストラリア BIG債券インデックス (ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		債券 組入 率	純資産 総額
		期中騰落率		期中騰落率		
(設定日) 2017年 8月10日	円	%		%	%	百万円
(第1期) 2018年 6月 7日	10,000	—	386.27	—	—	3,465
	9,946	△0.5	378.77	△1.9	96.2	3,474

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドはオーストラリアドル建て債券に投資を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークは設定しておりません。

(注4) FTSEオーストラリアBIG債券インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、オーストラリアの国債、政府・政府系機関債、担保付証券、社債などの総合収益率を市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注5) FTSEオーストラリアBIG債券インデックス（ヘッジなし・円ベース）は基準価額との関連を考慮して前営業日の値を用いています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

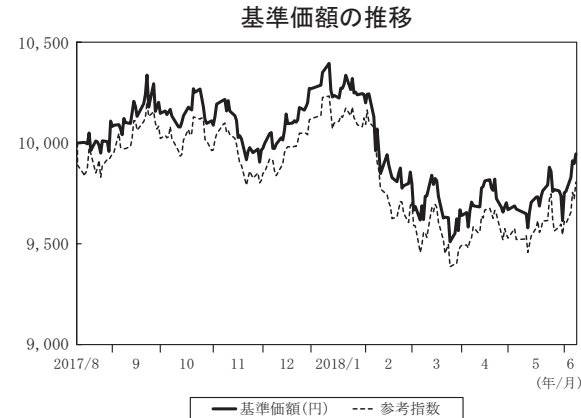
年 月 日	基準価額		FTSEオーストラリア BIG債券インデックス (ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		債券組入比率
		騰落率		騰落率	
(設定日) 2017年 8月10日	円	%		%	%
	10,000	—	386.27	—	—
8月末	10,082	0.8	384.16	△0.5	98.1
9月末	10,147	1.5	387.12	0.2	98.6
10月末	10,088	0.9	384.93	△0.3	98.7
11月末	9,974	△0.3	380.46	△1.5	98.4
12月末	10,269	2.7	390.91	1.2	98.0
2018年 1月末	10,199	2.0	389.82	0.9	98.4
2月末	9,799	△2.0	375.04	△2.9	97.2
3月末	9,640	△3.6	366.65	△5.1	96.3
4月末	9,669	△3.3	368.04	△4.7	96.6
5月末	9,753	△2.5	371.23	△3.9	96.3
(期 末) 2018年 6月 7日	9,946	△0.5	378.77	△1.9	96.2

(注) 騰落率は設定日比です。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2017年8月10日～2018年6月7日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数はFTSEオーストラリアBIG債券インデックス(ヘッジなし、円ベース)であり、設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は設定時10,000円で始まり、期末9,946円で終わりました。騰落率は△0.5%でした。基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと

(下落要因)

- ・主要な貿易相手国である米国・中国間の貿易摩擦懸念の高まりや、低インフレを背景としたオーストラリアの利上げ観測の後退を受けて、オーストラリアドルが円に対して下落したこと
- ・2018年に入り、世界的に長期金利が上昇(債券価格は下落)したことを受けて、オーストラリアの長期金利も上昇したこと

2 運用経過

運用概況

運用方針に基づき、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Ba3以上(およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む)の格付けを付与された公社債に投資しました。マクロ経済・債券市況・需給動向等の分析を踏まえ、金利動向およびクレジット市場の方向性を予測、ポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、運用戦略を決定・実行しました。

期の前半は世界的に債券利回りが低水準で推移するなか、オーストラリアも超長期国債の魅力が低下している一方、残存年限が10年以内の非国債スプレッドは米ドル建やカナダドル建など他市場と比較して縮小余地があることから今後も堅調に推移すると予想しました。この見通しを踏まえ、期初時点では長期・超長期国債の保有比率を抑制しつつ、10年以内、特に3-5年程度の金融機関債や国際機関債を多く保有しました。また、非国債市場においては既発債対比で新発債の利回りが高いことから、期中にドイツの政府系機関債やオーストラリア国内の金融機関債を新規発行に合わせて買い入れました。期の後半には、国債とのスプレッドが縮小した国際機関債は今後保有する魅力度が低下したとみられることから、段階的に国際機関債を売却、国債の購入を実施しました。また、1月以降はグローバルに国債金利が大きく変動したことから、オーストラリア国債のカーブ形状の変化や米国債カーブとの形状比較を踏まえ、デュレーション・リスクは抑えながらも超長期国債の保有比率を引き上げました。

【債券特性値】

期末(2018年6月7日)

デュレーション	5.3年
残存年数	6.4年
複利最終利回り	2.8%

※ファンドの「複利最終利回り」は実際の投資家利回りとは異なります。

【格付別組入状況】

期末（2018年6月7日）

格付	組入比率
AAA	67.5%
AA	11.9%
A	20.6%
合計	100.0%

※格付は格付投資情報センター、日本格付研究所、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、スタンダード・アンド・プアーズによる上位格付を採用

※組入比率は明治安田オーストラリア公社債マザーファンドの組入債券評価額合計に対する比率

3 今後の運用方針

引き続き、オーストラリアドル建ての公社債を主要投資対象とし、原則として格付機関からBBB-/Baa3以上（およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断したものを含む）の格付けを付与された公社債に投資します。

◎1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項目の概要
	(2017年8月10日～2018年6月7日)		
	金額	比率	
(a)その他費用	1 円	0.013 %	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は9,962円です。
(保管費用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	1	0.013	

(注1)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2017年8月10日～2018年6月7日)

○公社債

			買 付 額	売 付 額
外			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		国 債 証 券	28,361	7,279
	オーストラリア	地 方 債 証 券	3,209	—
国		特 殊 債 券	20,125	20,127
		社債券(投資法人債券を含む)	18,916	3,184

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎主要な売買銘柄

○公社債

当 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
AUSTRALIAN GOVT. 5.5%(オーストラリア)	1,051,377	TREAS CORP VICT 6%(オーストラリア)	514,594
TREAS CORP VICT 6%(オーストラリア)	514,026	AUSTRALIAN GOVT. 4.25%(オーストラリア)	414,928
AUSTRALIAN GOVT. 4.25%(オーストラリア)	444,228	AFRICAN DEV BANK 3.3%(オーストラリア)	270,204
AUSTRALIAN GOVT. 4.5%(オーストラリア)	309,831	EUROPEAN INVT BK 5%(オーストラリア)	229,579
BRIT COLUMBIA 4.25%(オーストラリア)	280,630	QUEENSLAND TREAS 3.25%(オーストラリア)	226,585
AUSTRALIAN GOVT. 2%(オーストラリア)	270,766	AUSTRALIAN GOVT. 5.75%(オーストラリア)	197,135
AFRICAN DEV BANK 3.3%(オーストラリア)	264,511	DEUTSCH BAHN FIN 3.8%(オーストラリア)	195,935
DEUTSCH BAHN FIN 3.8%(オーストラリア)	264,404	AFRICAN DEV BANK 4.75%(オーストラリア)	97,993
NATL AUSTRALIABK 5%(オーストラリア)	242,636	TREAS CORP VICT 4.25%(オーストラリア)	97,974
EUROPEAN INVT BK 5%(オーストラリア)	242,330	EUROFIMA 6%(オーストラリア)	94,086

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2017年8月10日～2018年6月7日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	37,050	39,591	3,344,299	96.2	—	29.3	56.3	10.6
合 計	37,050	39,591	3,344,299	96.2	—	29.3	56.3	10.6

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	当 期			末			償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
(オーストラリア)			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AUSTRALIAN GOVT. 2%	国債証券	2.0	3,270	3,240	273,691	2021/12/21	
AUSTRALIAN GOVT. 3%		3.0	2,050	1,922	162,358	2047/ 3/21	
AUSTRALIAN GOVT. 4.5%		4.5	2,980	3,536	298,750	2033/ 4/21	
AUSTRALIAN GOVT. 5.5%		5.5	10,620	12,107	1,022,706	2023/ 4/21	
BRIT COLUMBIA 4.25%	地方債証券	4.25	3,000	3,192	269,704	2024/11/27	
AUST & NZ BANK 3.3%	普通社債券	3.3	1,100	1,108	93,600	2022/ 3/ 7	
COM BK AUSTRALIA 3.5%	(含む投資法人債券)	3.5	900	913	77,181	2021/ 1/18	
CREDIT SUISSE/SY 4%		4.0	1,660	1,701	143,753	2021/ 3/ 9	
DEUTSCH BAHN FIN 3.8%		3.8	670	673	56,899	2027/ 9/27	
GOLDMAN SACHS GP 4.7%		4.7	2,000	2,091	176,707	2021/ 9/ 8	
GOLDMAN SACHS GP 5%		5.0	800	820	69,307	2019/ 8/21	
JPMORGAN CHASE 3.75%		3.75	2,500	2,537	214,340	2019/12/ 9	
NATL AUSTRALIABK 5%		5.0	2,500	2,718	229,631	2024/ 3/11	
UBS AG AUSTRALIA 4%		4.0	1,000	1,017	85,965	2019/ 8/27	
WESTPAC BANKING 3.125%		3.125	1,000	994	84,010	2022/10/27	
WESTPAC BANKING 3.5%		3.5	1,000	1,014	85,690	2022/ 2/ 7	
合 計					3,344,299		

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2018年6月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,344,299	96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	130,348	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	3,474,647	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(3,376,678千円)の投資信託財産総額(3,474,647千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=84.47円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年6月7日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	3,474,647,822円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	103,354,059
公 社 債 (評 価 額)	3,344,299,725
未 収 利 息	25,515,948
前 払 費 用	1,478,090
(B)負 債	11,080
そ の 他 未 払 費 用	11,080
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	3,474,636,742
元 本	3,493,335,021
次 期 繰 越 損 益 金	△ 18,698,279
(D)受 益 権 総 口 数	3,493,335,021口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,946円

(注1) 当親ファンドの設定元本額は3,465,000,000円、期中追加設定元本額は76,379,113円、期中一部解約元本額は48,044,092円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジあり)1,409,004,756円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(為替ヘッジなし)1,390,049,752円、オーストラリア好利回りバランス・ファンド(毎月決算型)694,280,513円です。

(注3) 1口当たり純資産額は0.9946円です。

(注4) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は18,698,279円です。

(注5) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注6) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注7) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注8) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◎損益の状況

自 2017年 8月10日
至 2018年 6月 7日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	108,132,723円
受 取 利 息	108,132,723
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△124,392,893
売 買 益	23,411,964
売 買 損	△147,804,857
(C)信 託 報 酬 等	△ 453,088
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 16,713,258
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,029,113
(F)解 約 差 損 益 金	△ 955,908
(G)計 (D + E + F)	△ 18,698,279
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 18,698,279